

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 25 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課長	荻田 信幸
健福-24	介護保険事業(特別会計)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	介護保険課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	健康長寿社会の構築

1 事業の目的

対象	鎌倉市介護保険被保険者
意図	高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるようにするため。
効果	市民の保健医療の向上及び福祉の増進を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

・被保険者が要介護状態等となることを予防するため、地域包括支援センターにおいて包括的・総合的支援を行った。
 ・介護保険の指導や被保険者の権利擁護のために必要な援助等、被保険者が地域において自立した日常生活を送れるよう支援するための事業を実施した。
 ・要支援認定者等に対し、介護予防サービスに加え、地域での自立した日常生活の支援を目的とした生活支援を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	包括的支援事業・任意事業	地域包括支援センター委託料等	地域包括支援センター相談件数(件)	集計中 / 20,000	262,529 / 268,961	20,000 30,333	
02	包括的支援事業(社会保障充実分)	生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーター活動件数(件)	1,314 / 1,000	28,500 / 28,500	1,400 -	131.4%
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	182,908 / 186,232		19,552	
			地方債	/			
			その他特定財源	108,121 / 111,229		10,781	
			一般財源	/			
			事業費の合計(千円)		291,029 / 297,461		30,333
			人件費(千円)		19,726	21,521	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	22.5	2.6	2.8			
会計年度任用職員	23.0	0.0	0.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	包括的支援事業・任意事業	現在集計中	高齢者の地域での生活支援にとって、地域包括支援センターの運営等が大きく寄与している。	今後、重層的支援体制整備事業の枠組みの中で、地域包括支援センターにおいても高齢者以外の相談も受け、適切な支援機関につなぐ役割を担う必要がある。
02	包括的支援事業(社会保障充実分)	目標を超える活発な活動が実施できている。	高齢者が地域で自立した生活をしていくために、様々な資源を活用しながら困りごとを解決していく活動を進めており、いつまでも生き生きと自分らしく生活することが出来るまちの姿に寄与している。	今後設置する予定の第1層協議体と連携するうえでも、第2層協議体の活動を通じて様々な地域課題の課題や社会資源を把握し解決につなげていく必要がある。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー 民生委員、認知症サポーター等

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
事業は継続していくが、令和4年度から重層的支援体制整備事業の枠組みとなり、地域包括支援センター事業のうち大部分と生活支援体制整備事業については、一般会計の他事業に移行することとなった。その他の介護保険事業として実施する配食サービス等は、介護が必要な高齢者への支援として引き続き実施していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	地域包括支援センターの相談件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
地域包括支援センターの相談件数を把握することにより、センターのニーズ・活動を把握できる。	目標値		20,000	20,000				
	実績値	18,462	集計中					
	達成率							

指標(単位)	生活支援コーディネーター活動件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
協議体設置に係る生活支援コーディネーターの地域での活動を把握するため。	目標値		1,000	1,400				
	実績値	925	1,314					
	達成率		131.4%					

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--